

長岡技術科学大学省エネルギー行動計画

令和7年3月7日

長岡技術科学大学

1. 基本方針

本学は教育研究に最大限配慮しつつ、計画的なピークカット・ピークシフトや温室効果ガスの削減を目的とした電力使用及びガス使用等の抑制(以下、「節電等」という。)に取り組む。

この節電等を定着させることで省エネルギーの持続的な取り組みとする。

なお、節電等の取り組みにあたっては学生、教職員等の健康や安全管理に十分留意する。

2. 取り組みの対象

本学の上富岡キャンパス

3. 取り組みの実施期間

令和7年度～令和9年度

各年 【夏期】 7月1日～9月30日の平日

【冬期】 12月1日～3月31日の平日

4. 節電等数値目標

- ・エネルギー消費原単位の令和6年度を基準とし、大学の中期目標期間（令和4年度～令和9年度）に合わせるため、初年度は令和7年度から令和9年度の3年間を対象期間とし、合計3%以上削減とする。
- ・それ以降の令和10年度からは大学の中期目標期間に合わせた6年目標とし、大学の中間評価の時期に合わせて適宜3年で見直しを行う。

※本学のエネルギー消費原単位は「エネルギー使用量／住居用途を除く建物床面積」を示します。

5. 節電等実行概要

(1) これまで実施してきた節電等の取り組みの継続

東日本大震災発生以降、実施してきた節電等の取組みを活かしながら継続して省エネを推進する。(下記6. 参照)

(2) 空調設備の使用への対応

教育研究への影響を最小限に抑える観点から利用者の体調管理に十分配慮し、室温管理を徹底した上で空調設備を使用する。室の利用人数に応じた室の移動等による空調稼働の抑制など、効率的な使用を心掛け省エネに努める。

6. 具体的な節電等の対策

本学が取り組む具体的な節電等の対策は、次のとおりとする。

大学：主に大学として取り組むこと
各系：主に各系・センター等が組織として取り組むこと
学教：主に学生・教職員等が自ら取り組むこと

(1) 節電等対策の周知

- ・ホームページ,ポスター,館内放送等によって省エネ行動計画期間中であることを学内外に広く周知し理解を得るとともに、節電等の取組みを推進する。
＜大学、各系＞

(2) 教育研究等

教育・研究等に最大限配慮しつつ、以下の取組みを行う。

- ・実験装置の運転方法等を見直し効率の良い運転を行う。＜各系、学教＞
- ・使用していない又は使用頻度の低い実験機器の電源プラグを抜くこと等により、待機電力の削減を行う。＜各系、学教＞
- ・使用していない実験用製氷機等の停止、共同使用により稼働台数を抑制する。
＜各系、学教＞
- ・実験機器等の使用時間短縮や実験時間変更によるピークシフトを行う(実験開始時間の早期化・二分化、昼夜逆転運転など)。＜各系、学教＞

(3) OA機器等

- ・パソコンのディスプレイ自動オフ時間の設定を短縮する。(ディスプレイ消し忘れ防止)＜学教＞
- ・プリンター,コピー機の共用化を図り稼働台数を抑制する。また、待機中は節電モードに切り替える。＜各系、学教＞

(4) 照明

- ・不要な照明の消灯を徹底する。＜各系、学教＞
- ・昼休み時間帯の消灯を徹底する。＜各系、学教＞

- ・蛍光灯を間引いて点灯する。その際、作業面の明るさが不足する場合には、卓上照明を利用する。〈各系、学教〉
- ・窓周辺の棚等を整理し、窓からの自然光の有効利用を図る。〈各系、学教〉
- ・自動販売機照明は節電モードに設定する。〈大学〉

(5) 空調

- ・室の利用人数に応じて自習室等を利用するなど、可能なレベルで室を移動し、効率的な使用を心掛ける。〈各系、学教〉
- ・ブラインド、カーテンを適切に調整し、自然エネルギーの活用を心掛ける。〈各系、学教〉
- ・クールビズ（冷房時の室温が 28℃でも快適な服装）の実践を徹底する。〈各系、学教〉【夏期】
- ・ウォームビズ（暖房時の室温が 20℃でも快適な服装）の実践を徹底する。〈各系、学教〉【冬期】
- ・空調設備の室温管理は、空調機の設定温度ではなく、温度計や温度計シール等により行う。また、室内温度のばらつきに留意し、サーキュレーターや扇風機等を活用する。〈各系、学教〉
- ・空調使用時に冷気の流れを妨げる物品や発熱の大きい機器の配置を工夫し、空調効果を高める。〈各系、学教〉

(6) エレベータ等

- ・直近階への移動はエレベータを使わず階段の利用に努める。
（2アップ3ダウンの励行）〈各系、学教〉

(7) その他

- ・電気ポット、コーヒーメーカー、電気・ガス給湯器等の使用台数を抑制する。〈各系、学教〉
- ・冷蔵庫、電子レンジ、コピー機等の共用化を図り使用台数を抑制する。〈各系、学教〉
- ・暖房便座や温水洗浄便座は節電設定を行い、ジェットタオルの使用は、極力控える。〈各系〉
- ・入居売店等への節電等の協力要請を行う。〈大学〉

7. その他の取組み等

- ・メールやホームページ等を使用し、学生や教職員に節電等の取組状況を周知する。
- ・電力使用状況等の情報はホームページにより「見える化」を継続し、節電モチベーションの向上に努める。
- ・室内の温度管理の方法が適切に行われているか、現地を見回り確認する。

- ・本学キャンパスは、平日以外でも学外者の利用があることから、本計画による取組みについて、理解と協力を求める。

8. フォローアップ

本計画については、本学の今後の節電等の状況や社会情勢等の変化に応じ、施設環境委員会において対策の追加、見直しの検討、決定を行い学生・教職員等へ周知する。

また、本計画の実施期間終了後、実施内容、結果等について確認を行うものとする。